

Kofax Search and Matching Server

インストール ガイド

バージョン: 6.8.0

日付: 2020-07-05

KOFAX

© 2006-2019 Kofax, 15211 Laguna Canyon Road, Irvine, California 92618, U.S.A. All right reserved.
Portions © 2002-2006 Kofax Development GmbH. Portions © 1997-2006 Kofax U.K. Ltd. All Rights Reserved. Use is subject to license terms.

Third-party software is copyrighted and licensed from Kofax's suppliers.

This product is protected by U.S. Patent No. 5,159,667.

THIS SOFTWARE CONTAINS CONFIDENTIAL INFORMATION AND TRADE SECRETS OF KOFAX
USE, DISCLOSURE OR REPRODUCTION IS PROHIBITED WITHOUT THE PRIOR EXPRESS
WRITTEN PERMISSION OF KOFAX

Kofax, the Kofax logo, Kofax Search and Matching Server, Ascent Xtrata Pro, INDICIUS, Xtrata, Ascent Capture, Kofax Capture, VirtualReScan, the "VRS VirtualReScan" logo, and VRS are trademarks or registered trademarks of Kofax or its affiliates in the U.S. and other countries. All other trademarks are the trademarks or registered trademarks of their respective owners.

U.S. Government Rights Commercial software. Government users are subject to the Kofax standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

You agree that you do not intend to and will not, directly or indirectly, export or transmit the Software or related documentation and technical data to any country to which such export or transmission is restricted by any applicable U.S. regulation or statute, without the prior written consent, if required, of the Bureau of Export Administration of the U.S. Department of Commerce, or such other governmental entity as may have jurisdiction over such export or transmission. You represent and warrant that you are not located in, under the control of, or a national or resident of any such country.

DOCUMENTATION IS PROVIDED "AS IS" AND ALL EXPRESS OR IMPLIED CONDITIONS, REPRESENTATIONS AND WARRANTIES, INCLUDING ANY IMPLIED WARRANTY OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE OR NON-INFRINGEMENT, ARE DISCLAIMED, EXCEPT TO THE EXTENT THAT SUCH DISCLAIMERS ARE HELD TO BE LEGALLY INVALID.

目次

序文.....	4
関連ドキュメント.....	4
トレーニング.....	4
Kofax 製品のヘルプの入手.....	5
第 1 章: システム要件.....	6
サポートされているオペレーティング システム.....	6
推奨ハードウェア要件.....	6
CPU要件.....	6
ソフトウェアの前提条件.....	7
第 2 章: インストール.....	8
インストールに関する重要な注意事項.....	8
Kofax Search and Matching Server のインストール.....	9
コマンド ラインのインストールとパラメータ.....	11
サイレント インストール モードの使用.....	13
Oracle ドライバのインストールKofax Search and Matching Server.....	14
Microsoft Azure 用の Kofax Search and Matching Server の構成.....	15
Microsoft Azure の接続タイムアウト構成.....	17
Kofax TotalAgility 用の Kofax Search and Matching Server の構成.....	18
コマンド ラインを使用した Kofax Search and Matching Server ノード.....	18
設定ファイル.....	19
コマンド ラインを使用したサービス アカウントの構成.....	21
Kofax Search and Matching Server のアップグレード.....	21
並列接続の数の増加.....	21
Kofax Search and Matching Server のインストールのメンテナンス.....	22
Kofax Search and Matching Server のアンインストール.....	22
Kofax Search and Matching Server Administration のアンインストール.....	23
Kofax Search and Matching Server 権限.....	23
第 3 章: Kofax Search and Matching Server ドキュメントへのアクセス.....	24
デフォルトのオンライン ドキュメント.....	24
オフライン ドキュメントの構成.....	24

序文

このガイドには、Kofax Search and Matching Server のインストールに関する情報が含まれています。また、Windows の標準アプリケーション、インターフェイス、および Kofax Capture を完全に理解していることを前提にしています。

このガイドは、Kofax Search and Matching Server をインストールするソリューション インテグレータ、またはインストール手順およびインストール要件に関する説明が必要なユーザー向けのドキュメントです。

Kofax の電子配信サイトから Kofax Search and Matching Server をダウンロードした場合は、ISO ファイルからファイルを抽出できます。サイトの説明を参照してください。または、電子メディアを含むパッケージとして Kofax Search and Matching Server を受け取っている可能性があります。このガイドでは、抽出されたファイルおよび電子メディアを製品ファイルと呼びます。

関連ドキュメント

本ドキュメントに加えて、次のドキュメントを利用できます。

Kofax Search and Matching Server のヘルプ

このヘルプでは、リモート Fuzzy データベース サーバーの概念や原理および Kofax Search and Matching Server Administration を使用して Fuzzy インデックスの設定や保守を行う方法についての詳細情報を提供します。

Kofax Search and Matching Server インストール ガイド

Kofax Search and Matching Server インストール ガイドには、Kofax Search and Matching Server および Kofax Search and Matching Server Administration をインストールする手順が記載されています。さらに、このガイドには、インストール要件、インストールに関する重要な注意事項、インストールの修正や製品のアンインストールに関する情報も含まれています。

トレーニング

Kofax には、Kofax のソリューションを最大限活用できるように、クラスルームおよびコンピュータ ベースのトレーニングが用意されています。

利用可能なトレーニング オプションとスケジュールの詳細については、www.kofax.com の Kofax Web サイトをご覧ください。

Kofax 製品のヘルプの入手

Kofax では、Kofax 製品の最新情報を掲載した Kofax サポート サイトを定期的に更新しています。

一部のリソースにアクセスするには、認定 Kofax 販売代理店/パートナーとの有効なサポート契約または Kofax との直接の有効なサポート契約が必要です。

以下については、<http://www.kofax.com/support/> にアクセスしてください。

- 製品ナレッジ ベースへのアクセス。
ナレッジ ベース をクリックします。
- Kofax Customer Portal にアクセスします (利用可能なユーザー向け)。
Kofax Customer Portal をクリックして、ログインします。
ポータルを最大限に活用するには、Kofax Customer Portal のログイン ページに移動し、*Guide to the Kofax Support Portal* を開くリンクをクリックします。このガイドでは、ポータルのアクセス方法、サポート チームに連絡する前の作業、新しいケースを開いたり、開いたケースを表示する方法、ケースを開く前に収集する情報について説明しています。
- 製品情報と最新情報
[Transformation] > Kofax Search and Matching Server をクリックします。
- ダウンロード可能な製品ドキュメント
[Transformation] > Kofax Search and Matching Server > [ドキュメント] をクリックし、ドキュメントを選択します。
- サポート ツールへのアクセス
Tools をクリックして、使用するツールを選択します。
- Kofax 製品のサポート 責務に関する情報
サポート 責務の詳細については、さらに表示をクリックしてください。

第 1 章

システム要件

この章では、認定およびサポートされるオペレーティング システムと推奨ハードウェア要件を一覧で示します。

サポートされているオペレーティング システム

Kofax Search and Matching Server は 64 ビット オペレーティング システムのみをサポートします。

サポートされているオペレーティング システムとその他の要件については、Kofax サポート Web サイト (www.kofax.com) を参照してください。

推奨ハードウェア要件

Kofax Search and Matching Server の推奨ハードウェア要件については、次のセクションで概要を説明します。

Kofax Search and Matching Server の推奨ハードウェア要件

プロセッサ:	8 ~ 32 コア <div style="background-color: #f0f0f0; padding: 5px; margin-top: 5px;">ヒント コア数は、Kofax Search and Matching Server がリモートでアクセスするクライアントの数に応じて異なります。</div>
システム メモリ:	コアあたり 1 GB
オペレーティング システム:	64 ビット サーバー オペレーティング システム
ハードディスク容量:	Kofax Search and Matching Server のインストールおよび構成されたデータベースごとに、ソース データのサイズの 6 倍の 1GB のハードディスク空き容量が必要です。たとえば、1 GB の CSV テキストファイルには 6 GB のディスク容量が必要です。

CPU要件

Kofax Search and Matching Server は、マルチコア プロセッサ テクノロジを使用して、マルチプロセッサ システムおよび計算タスクの並列処理をサポートします。Kofax Search and Matching Server は、最大 32 個の CPU での使用が認められています。

ソフトウェアの前提条件

Kofax Search and Matching Server では、次のソフトウェアを事前にインストールする必要があります。

- Visual C++ VS2017 SP1 32 ビットのランタイム ライブラリ
- Visual C++ VS2017 SP1 64 ビットのランタイム ライブラリ
- Windows インストーラ 3.1
- Microsoft .NET Framework 4.7.2

上記のプログラムはすべて、Kofax Search and Matching Server インストーラに含まれています。

また、Oracle データベース接続を使用する場合は、[Oracle ドライバをインストール](#)する必要があります。

第 2 章

インストール

この章では、Kofax Search and Matching Server および Kofax Search and Matching Server Administration ツールのインストール方法について説明します。

重要 Kofax Search and Matching Server は、本番環境の他の Kofax 製品とともにサーバーにインストールしないでください。これは、Kofax Search and Matching Server が検索クエリ中にすべての CPU コアを消費してパフォーマンスを最大化するためです。

たとえば、Kofax Search and Matching Server および Kofax Search and Matching Server を同一のサーバーにインストールすることなどは避ける必要があります。Kofax Search and Matching Server が大量のドキュメントの OCR でビジー状態の場合、Kofax Search and Matching Server は十分な CPU パワーにアクセスできなくなります。これにより、2 つの製品の処理能力が競合するため、全体の処理時間が遅くなります。

Kofax Search and Matching Server には 3 つのコンポーネントがあります。

1. Kofax Search and Matching Server は、あいまい検索を実行します。
2. Load Balancer は、使用可能な検索サーバー間で検索クエリを分散します。
3. Administration は、Kofax Search and Matching Server および Load Balancer を構成するために使用するツールです。これは別のマシンにインストールすることができます。

インストールに関する重要な注意事項

このセクションでは、Kofax Search and Matching Server のインストールに関する重要な注意事項を一覧で示します。

管理者権限

製品をインストールするには、ログインしたユーザーにローカル コンピュータの管理者権限が必要です。

インストール済みのバージョンの変更、修復、削除

現在のバージョンの Kofax Search and Matching Server を変更、修復、または削除する必要がある場合は、インストール メディアからセットアップを再度開始し、対応するボタンを選択します。

Microsoft Windows ファイアウォールの例外

Microsoft Windows Firewall サービスが実行されていない場合、Kofax Search and Matching Server インストーラではファイアウォールの例外の追加が失敗します。次のメッセージが表示されます。

Windows ファイアウォールに接続できません(-2147023143)。

[無視] をクリックしてファイアウォールの例外を追加せずにインストールを続行するか、Microsoft Windows ファイアウォール サービスを手動で開始し、[再試行] をクリックしてファイアウォールの設定を正しく構成します。

オペレーティング システムの更新後の再起動

オペレーティング システムのアップデートをインストールした直後に要求された再起動を実行しない場合は、インストールの実行前に再起動する必要があります。再起動を行わない場合、インストールに失敗する可能性があります。

サービス ユーザー アカウント

Kofax Search and Matching Server サービスを実行するために使用したユーザー アカウントがデフォルトのユーザー アカウントと異なる場合は、「サービスとしてログオン」するために必要な権限が代替ユーザー アカウントに設定されていることを確認してください。

ユーザー アカウントに必要な権限がない場合、エラー メッセージが表示されます。

Web ヘルプの設定

Kofax Web ヘルプを正しく表示するには、ブラウザでスクリプトが有効になっていることを確認する必要があります。スクリプトが有効になっていない場合、目次および [検索] タブと [インデックス] タブが正しく表示されず、コンテキストセンシティブ ヘルプが機能しません。

Kofax Search and Matching Server のインストール

このセクションでは、Kofax Search and Matching Server のインストール手順について説明します。

Kofax Search and Matching Server およびそのコンポーネント 以下の手順に従って、 をインストールすることができます。

1. Kofax Search and Matching Server Administration をインストールするワークステーションで実行されている可能性のあるすべてのアプリケーションをシャットダウンします。これには、コントロール パネル、ウイルス検出ソフトウェア、ツールバーが含まれます。

重要 完全な Windows 管理者権限があることを確認してください。

2. Kofax Search and Matching Server ISO ファイルの一部である **[Autorun.exe]** を実行してインストールを開始します。
Kofax Search and Matching Server のインストール メニューが表示されます。
3. メニューから **[Kofax Search and Matching Server のフル インストール (64 ビット)]** を実行する] を選択します。
インストールのセットアップ ウィザードウィンドウが表示されます。
4. セットアップ ウィザードを起動するように求められたら、**[次へ]** をクリックします。
5. 使用許諾契約に同意し、**[次へ]** をクリックします。
6. セットアップ ウィザードの最初のカスタム セットアップ ステップで、インストールする機能を選択できます。
変更する機能のアイコンをクリックし、リストから方法を選択します。

7. 必要に応じて [参照] を選択してインストール先のフォルダを変更し、フォルダを選択してから [OK] をクリックして設定を保存します。
8. [次へ] をクリックしてインストールを続行します。
9. 必要に応じて、データの場所のフォルダを変更します。

- a. Fuzzy データベース、ログ ファイル、アップロードされたファイルを含む Kofax Search and Matching Server データの場合は、[参照] をクリックし、フォルダを選択してから [OK] をクリックして設定を保存します。
- b. Load Balancer データの場合は、[参照] をクリックし、フォルダを選択してから [OK] をクリックして設定を保存します。[次へ] をクリックします。

デフォルトのパスを変更しない場合は、[次へ] をクリックします。

10. Kofax Search and Matching Server または Load Balancer の管理およびメンテナンスを実行するには、ユーザーが「KSMS Administrators」ユーザー グループのメンバーである必要があります。デフォルトでは、この値は `KSMSAdministrators` に設定されています。必要に応じて、このユーザー グループ名を変更します。
11. Kofax Search and Matching Server に対して次のアクセス タイプのいずれかを選択します。

ドメイン グループ

このオプションを選択した場合、「KSMS Administrators」ユーザー グループはドメイン グループである必要があります。

ドメインで Kofax Search and Matching Server を実行するには、ドメイン管理者に連絡して、「KSMS Administrators」グループを作成し、Kofax Search and Matching Server または任意のコンポーネントをインストールする前にユーザーを割り当てる必要があります。

ローカル グループ

「KSMS Administrators」グループは、次のオプションを選択した場合にインストーラによって自動的に作成されるローカル グループである必要があります。

必要に応じて、[ローカルの **KSMS Administrators** グループを作成して現在のユーザーをグループに追加する] を選択してグループを作成すると、インストーラによって現在のユーザーがグループに自動的に追加されます。

注 構成済みのユーザー グループに追加のユーザーを指定する場合は、[コンピュータの管理] ウィンドウの [グループ] からユーザーを手動で追加します。ユーザー グループを右クリックして、「[グループに追加]」を選択します。

12. Load Balancer を使用している場合は、[カスタム資格情報] を選択して、Kofax Search and Matching Server および Load Balancer サービスを実行するユーザー アカウントの詳細を入力します。
Load Balancer を使用していない場合は、必要に応じて、[事前定義された資格情報] および [カスタム資格情報] を使用できます。
13. [次へ] をクリックしてから [インストール] をクリックし、選択した機能のインストールを開始します。
14. インストール プロセスが正常に完了したら、[完了] をクリックします。

コマンドラインのインストールとパラメータ

コマンドラインを使用して、Kofax Search and Matching Server、Administration ツール、および Load Balancer をインストールすることが可能です。このタイプのインストールでは、インストール中に構成設定をより詳細に制御できるため、ソフトウェアをネットワーク全体または複数のマシンにリモートで展開することができます。[サイレントインストール](#)を行う場合にも、コマンドラインを使用することができます。

コマンドラインを使用した Kofax Search and Matching Server のインストールには 2 つのオプションがあります。

Setup.exe

小さなネットワーク上に展開しており、.msi インストーラを使用しない場合には、この実行可能ファイルを使用します。

たとえば、Load Balancer のみをインストールする場合は、次のコマンドを使用します。サービスのユーザー名およびポート番号を指定することもできます。

```
Setup.exe LOADBALANCER=1 NOSEARCHSERVER=1 NOADMINISTRATION=1
SERVICEUSERNAME=LoadBalancer\Administrator SERVICEPASSWORD=Password
LBCOMMUNICATIONPORT=29999
```

使用可能な任意の組み合わせのパラメータを使用できます。

KSMS.msi

各ワークステーションで個別にインストールを行わず、ソフトウェアをネットワーク経由で複数のマシンにインストールするには、msi インストーラを使用します。

重要 Setup.exe とは異なり、KSMS.msi インストーラでは、[前提条件](#)が自動的にインストールされません。.msi インストーラを実行する前に、これらの前提条件を手動でインストールする必要があります。

たとえば、次のコマンドを使用して Kofax Search and Matching Server および Administration ツールをインストールし、データベースパスおよび KSMSAdministrator の名前を変更できます。

```
Msiexec.exe /i KSMS.msi TARGET_DATABASESPATH="C:\DATABASES"
KSMSADMINISTRATORSGROUP=Administrators
```

上記のコマンドでは、Kofax Search and Matching Server または Administration ツールに対するパラメータは指定されていません。これは、これらのソフトウェアがデフォルトでインストールされ、パラメータが不要であるためです。

msiexec.exe のオプションの詳細については、Microsoft MSDN の[コマンドライン オプション](#)の説明を参照してください。

次のパラメータは、Setup.exe と KSMS.msi で使用できます。

コマンドライン パラメータ

パラメータ	説明と値のオプション
NOSEARCHSERVER=0	デフォルトでは、Kofax Search and Matching Server はコマンドラインからインストールされます。Kofax Search and Matching Server をインストールしない場合は、このパラメータの値を 1 に設定します。

パラメータ	説明と値のオプション
LOADBALANCER=0	デフォルトでは、Load Balancer はコマンドラインからインストールされません。Load Balancer をインストールするには、このパラメータの値を 1 に設定します。
NOADMINISTRATION=0	デフォルトでは、Administration ツールはコマンドラインからインストールされます。Administration ツールをインストールしない場合は、このパラメータの値を 1 に設定します。
SERVICEUSERNAME=<MachineorDomainName> \<ServiceUser> SERVICEUSERPASSWORD=<Password>	<p>これらは、Kofax Search and Matching Server、Load Balancer、およびサーバー ブラウザのユーザー資格情報です。</p> <p>この資格情報のデフォルト値は NETWORKSERVICE です。ただし、このサービスを使用しない場合は、アクセス可能なユーザー名とパスワードの組み合わせを指定してください。</p> <p>Load Balancer を使用する場合は、NETWORKSERVICE を使用しないでください。代わりに、別のユーザー名とパスワードを入力します。</p>
USESECURESEARCH=1	<p>このパラメータは、Kofax Search and Matching Server および Load Balancer に対してのみ使用できます。</p> <p>デフォルトでは、保護された検索が有効になっています。保護された検索を使用しない場合は、このパラメータに値 0 を追加します。</p>
KSMS_DATAFOLDER="C:\KSMS"	<p>このパラメータは、Kofax Search and Matching Server に対してのみ使用できます。</p> <p>ターゲットとなるデータベースの有効なフォルダパスを指定します。</p>
LOADBALANCER_DATAFOLDER="<A valid path>"	<p>これは、Load Balancer のデータが保管される場所を定義します。</p> <p>有効なフォルダパスを指定します。</p>
KSMSCOMMUNICATIONPORT=22000 LBCOMMUNICATIONPORT=22001	<p>これらのパラメータは、Kofax Search and Matching Server および Load Balancer に固有です。</p> <p>デフォルトのポート 22000 または 22001 を使用しない場合は、このパラメータを使用して、空いているポート番号を指定します。</p>
KSMSLOGLEVEL=INFO LBLOGLEVEL=INFO	<p>これらのパラメータは、Kofax Search and Matching Server および Load Balancer に固有です。</p> <p>デフォルトの「WARN (警告)」のロギングレベルを使用しない場合は、このパラメータを使用して、「DEBUG」、「INFO」、または「ERROR」のいずれかを指定します。</p>

パラメータ	説明と値のオプション
KSMSSERVERLANGUAGE LBSERVERLANGUAGE	これらのパラメータは、Kofax Search and Matching Server および Load Balancer に固有です。 英語またはドイツ語のデフォルト言語を使用しない場合は、このパラメータを使用して、代替言語を指定します。 注 代替言語を使用するには、言語パックが必要です。
ADDUSERGROUP=1	KSMSAdministrator のユーザー グループをインストール時に構成するかどうかを指定できます。これはデフォルトで有効になっています。つまり、デフォルトのユーザー グループを変更しない場合にのみ、コマンドで指定します。
KSMSADMINISTRATORSGROUP=<Group>	管理者のユーザー グループ名を変更しない場合は、このパラメータを使用します。ADDUSERGROUP=0 を設定した場合、このパラメータは無効になります。
USEDOMAINUSER=0	KSMSAdministrator ユーザー グループがローカルグループである場合、このパラメータを使用します。
HELP_DATAFOLDER="<A valid path>"	ヘルプをインストールする場所を定義します。デフォルトでは、ヘルプは C:\ProgramData\Kofax\SearchMatchingServer\Help にインストールされます。 有効なフォルダ パスを指定します。
INSTALLDIR="<a valid path>"	プログラムがインストールされる場所を定義します。デフォルトでは、製品は C:\ProgramFiles\Kofax\SearchMatchingServer\ にインストールされます。 有効なフォルダ パスを指定します。

注 コマンドラインパラメータとして使用できるほとんどのオプションは、**構成ファイル**でも使用できます。必要に応じて、各マシンでこれらのファイルを編集します。

サイレント インストール モードの使用

Kofax Search and Matching Server のウィザード形式のインストールを実行せずに、サイレント インストールを使用することもできます。この自動インストールでは、構成、進行状況、機能情報、または警告ウィンドウは表示されませんが、エラー メッセージは表示されます。

デフォルトでは、コマンドプロンプトでサイレント インストール パラメータを使用して Setup.exe または KSMS.msi を実行すると、Load Balancer および Administration 機能がインストールされます。また、**追加のパラメータ**を利用することもできます。

サイレント インストールでは、次のパラメータを使用できます。

サイレント インストール用パラメータ

Setup.exe パラメータ	Msiexec.exe パラメータ	説明と値のオプション
/?	/? または /h	ヘルプ ウィンドウを表示する。
/quiet	/quiet、/q、または /qn	ユーザーの操作なしにインストーラを実行する。
/log [filename]	l*v [filename]	インストーラのログ メッセージを特定のファイルに書き込む。
/uninstall または /u	/x	製品をアンインストールする。
	/i	製品をインストールする。
<property>=<value>	<property>=<value>	追加のパラメータを Microsoft Windows インストーラに渡します。

1. [スタート] メニューから [実行] を選択します。
2. **[cmd]** と入力して Enter キーを押します。
コマンド プロンプト ウィンドウが表示されます。
3. Kofax Search and Matching Server Setup.exe ファイルを含むフォルダにディレクトリを変更します。
4. コマンドラインからセットアップを実行します。
たとえば、次のコマンドを使用して Administration ツールおよび Load Balancer のみをインストールします。なお、ログにはインストール手順が記録されます。

```
setup /quiet NOSEARCHSERVER=1 LOADBALANCER=1 /log KSMSInstaller.log
```

Oracle ドライバのインストールKofax Search and Matching Server

Oracle データベースを使用している場合は、Oracle ドライバをインストールする必要があります。以下の手順に従って、ドライバをインストールできます。

1. <https://www.oracle.com/technetwork/topics/dotnet/downloads/odacdeploy-4242173.html> にある Oracle ドライバの Web サイトに移動します。
2. **[ODAC XCopy]** カテゴリから、**[管理対象の ODP.NET 12.2.0.1.0]** Oracle ドライバをダウンロードします。
ODO.NET 12.2.0.1.0 ドライバは、次の Oracle データベース バージョンと互換性があります。11g、12c、および 18c。
3. ダウンロードしたファイルを Kofax Search and Matching Server がインストールされた場所にコピーします。
4. ドライバを解凍し、次のコマンドを実行します。

```
install_odpm.bat [oracle_home_path] [platform] true
```

例 : install_odpm.bat C:\oracle x64 true

Oracle.ManagedDataAccess.dll が GAC にインストールされているため、Kofax Search and Matching Server で利用することができます。サーバーを再起動する必要はありません。

5. 必要に応じて、次のコマンドを使用してドライバをアンインストールします。`uninstall_odpm.bat [oracle_home_path] [platform] true。`

Microsoft Azure 用の Kofax Search and Matching Server の構成

このセクションでは、Microsoft Azure 仮想マシン上での Kofax Search and Matching Server 構成の追加手順を説明します。

注 Microsoft Azure では、次の仮想マシン オペレーティング システムのみがサポートされています。

- Windows Server 2008 R2 (x64)
- Windows Server 2012

1. Kofax Search and Matching Server のインストール。
2. Windows Azure 管理 Web サイトにアクセスし、Azure アカウントでサイン インします。
左側のペインに Azure コンポーネントのリストが表示されます。
3. 左側のペインから [仮想マシン] をクリックします。
右側に仮想マシンのリストが表示されます。
4. 仮想マシンのリストから、Kofax Search and Matching Server をインストールしたマシンを選択します。
その仮想マシンの概要ページが表示されます。
5. 概要ページの上部にあるメニューから [エンドポイント] をクリックします。
デフォルトのエンドポイントのリストが表示されます。
6. 画面の下部にある [+] をクリックして、新しいエンドポイントを追加します。
[エンドポイント追加] ウィンドウが表示されます。
7. [スタンドアロン エンドポイントの追加] を選択し、画面下部にある右矢印をクリックします。
[エンドポイント追加] ウィンドウに、エンドポイントに構成する必要がある詳細のリストが表示されます。

8. エンドポイントを次のように構成します。
 - a. **[名前]** フィールドに、Kofax Search and Matching Server のエンドポイントのわかりやすい名前を入力します。
 - b. **[プロトコル]** には、「TCP」を選択します。
 - c. **[パブリック ポート]** フィールドにポート番号を入力します。
デフォルトのポート値は「22000」です。

注 Kofax Search and Matching Server のインストール時にポート番号を指定した場合は、その値を入力します。

- d. **[プライベート ポート]** フィールドに、ポート番号を入力します。

注 プライベート ポートの値はパブリック ポートと同一である必要があります。

- e. **[負荷分散セットの作成]** をクリアします。
 - f. **[ダイレクト サーバー リターンの有効化]** をクリアします。
 - g. 右下隅にあるチェックマークをクリックして、エンドポイント設定を保存します。

エンドポイントの設定が閉じて、仮想マシンの概要ページが表示されます。

9. 仮想マシンに接続するには、ウィンドウの下部にあるメニューから **[接続]** をクリックします。
仮想マシンがロードされて、設定を構成できるようになります。
10. Kofax Search and Matching Server で使用するユーザー アカウントを作成します。
 - a. コントロール パネルから **[ユーザー アカウント]** を開きます。
 - b. **[別のアカウントを管理]** をクリックします。
 - c. **[新しいアカウントを作成]** をクリックします。
 - d. KSMSService の名前フィールドに入力します。
 - e. 他のすべてのデフォルト設定をそのままにして、**[アカウントを作成]** をクリックします。
KSMSService のアカウントが **[アカウントの管理]** 画面に表示されます。
KSMSService のユーザー アカウントが作成されます。

11. サービスとして実行する `KSMSService` ユーザー アカウントを構成します。
 - a. Windows 管理ツールから [ローカル セキュリティ ポリシー] を開きます。
 - b. コンソール ツリーで、[ローカルポリシー] を展開します。
 - c. [ユーザー権限の割り当て] を選択します。
 - d. 詳細ウィンドウで、[サービスとしてログオン] をダブルクリックします。
 - e. [ユーザーまたはグループの追加] をクリックします。
[ユーザーまたはグループの選択] ウィンドウが表示されます。
 - f. [選択するオブジェクト名を入力してください (例):] フィールドに、[`KSMSService`] を入力します。
 - g. [名前の確認] をクリックします。
`KSMSService` のユーザー アカウントが表示されます。
 - h. [OK] をクリックします。
[ユーザーまたはグループの選択] ウィンドウが閉じます。
 - i. もう一度 [OK] をクリックします。
[サービスとしてログオン] の [プロパティ] ウィンドウが閉じます。これで、`KSMSService` のユーザー アカウントがサービスとして実行されるように構成されました。
12. 仮想マシンがドメインの一部でない場合は、必要に応じて、Kofax Search and Matching Server がホストするデータベースを使用するために必要な権限を持つ `KSMSUser` という別のユーザー アカウントを作成します。
Kofax Search and Matching Server が Microsoft Azure で実行するように構成されます。

Microsoft Azure の接続タイムアウト構成

Kofax Search and Matching Server がオンプレミスでインストールされ、1 つ以上のクライアントが Azure 環境で実行されている場合は、接続タイムアウト構成が必要です。これは、Microsoft Azure では TCP 接続の数を制限するメカニズムを使用しており、4 分以上アイドル状態になった接続が自動的にドロップされるためです。クライアントとサーバーの間の接続は、クライアントで接続を閉じるまで開いたままになるため、この動作は完全にオンプレミスの Kofax Search and Matching Server と競合しません。

これにより、Azure で Kofax Search and Matching Server との接続がドロップされた場合、Kofax Search and Matching Server では切断が認識されないため、サーバー側で接続が開いたままになるという問題が発生します。使用可能な接続数には制限があるため、この非アクティブな接続は、時間の経過とともにパフォーマンスの問題を引き起こす可能性があります。また、この切断された接続は、Azure が Kofax Transformation Modules または Transformation Server などのクライアントに次の接続するときに TCP の競合を引き起こす可能性もあります。

4 分間という Azure の接続ドロップ時間を変更することはできないため、ドロップされる前に Kofax Search and Matching Server および Azure 間の接続を閉じる必要があります。

タイムアウト期間の前に接続を閉じるには、次のコードを `Kofax.KSMS.Service.exe.config` ファイルの `<Configuration>` セクションに追加します。

```
<system.serviceModel>  
<bindings>
```

```
<netTcpBinding>
  <binding name="netTcpBindingClientInterface"
    openTimeout="00:10:00"
    closeTimeout="00:01:00"
    sendTimeout="24:00:00"
    receiveTimeout="00:03:30"
    maxReceivedMessageSize="2147483647">
    <security mode="Transport">
      <transport clientCredentialType="Windows"
        protectionLevel="EncryptAndSign"/>
    </security>
  </binding>
</netTcpBinding>
</bindings>
</system.serviceModel>
```

注 Load Balancer を使用している場合は、上記のコンテンツを `Kofax.KSMS.Service.exe.config` ではなく `Kofax.KSMS.LoadBalancerService.exe.config` ファイルの `<Configuration>` セクションに追加します。

Kofax TotalAgility 用の Kofax Search and Matching Server の構成

Kofax Search and Matching Server が Kofax TotalAgility とは異なるドメインにインストールされている場合 (Kofax TotalAgility が Kofax でホストされた Azure から実行され、Kofax Search and Matching Server がオンプレミスで実行されている場合など)、次の手順を実行します。

1. Kofax Search and Matching Server がインストールされているコンピュータに次のローカル ユーザー アカウントが作成されていることを確認します。
 - `KSMSAdministrator` グループの管理ユーザー。このアカウントは、サーバーおよび Load Balancer の管理とメンテナンスに使用されます。
 - `KSMSUser` は、検索要求を実行します。セキュリティ上の理由から、このユーザー アカウントを `KSMSAdministrator` グループに含めることはできません。
2. Kofax TotalAgility と Kofax Search and Matching Server 間の通信に使用されるポートを開くようにファイアウォールを構成します。

Azure がアクセスに使用する IP アドレスを指定します。Azure で認識されない内部 IP アドレスを使用すると、通信が失敗します。
3. Transformation Designer で、Kofax Search and Matching Server のリモート Fuzzy データベースを追加し、`KSMSUser` としてログオンするための資格情報を設定します。

この資格情報は、クライアント ユーザーを認証し、Kofax Search and Matching Server への接続を確立して検索を実行するために必要です。

コマンドラインを使用した Kofax Search and Matching Server ノード

コマンドラインを使用して Administration ツールを呼び出し、Kofax Search and Matching Server ノードを動的に追加または削除することができます。

ノードを追加するには、次の構文を使用します。

```
Kofax.KSMS.Administration.exe /a LoadBalancerAddress=localhost LoadBalancerPort=22001  
NodeAddress=localhost NodePort=22000
```

ノードを削除するには、次の構文を使用します。

```
Kofax.KSMS.Administration.exe /r LoadBalancerAddress=localhost LoadBalancerPort=22001  
NodeAddress=localhost NodePort=22000
```

必要に応じて、エラーまたは成功の場合にポップアップ メッセージを表示しないようにするには、/q パラメータを使用します。

設定ファイル

Kofax Search and Matching Server のインストールをカスタマイズするために変更可能な 2 つの構成ファイルがあります。Kofax Search and Matching Server 6.8 にアップグレードすると、これらの構成ファイルによって以前のレジストリ設定が置き換えられます。これらの設定は、構成に役立つように構成ファイルで使用できるようになりました。

重要 これらの構成ファイルに加えられた変更は、サービスを再起動すると有効になります。

1. Kofax.KSMS.LoadBalancerService.exe.config
2. Kofax.KSMS.Service.exe.config

これらの構成ファイルは、対応する実行可能ファイルとともにインストールされます。デフォルトでは、インストール パスは <Program Files>\Kofax\SearchMatchingServer になります。

どちらの構成ファイルにも同じオプションがありますが、それぞれ独立しています。オプションは次のとおりです。

RunningMode

サーバーが「標準」モードまたは「制限」モードのどちらで実行されているかを定義します。このオプションの値は、「標準」がデフォルトで設定されています。「制限」モードは、矛盾する情報を送信せずに 2 つの Load Balancer を連携させる場合にのみ使用してください。

Port

サーバーとの検索および設定操作中に通信を確立するために使用されるネットワーク ポートを選択します。デフォルトでは、22000 または 22001 が割り当てられています。有効な任意のポートを割り当てることができます。

Language

サービスにより作成されたログ メッセージに使用される言語。このオプションの値は、「英語」がデフォルトで設定されています。

注 追加の言語をサポートするには、対象の言語パックが必要です。

DataRootDirectory

Kofax Search and Matching Server のデータが保存されるパス。このオプションの値は、C:\ProgramData\Kofax\KSMS がデフォルトで設定されています。

KsmsAdministratorsGroupName

サービスを構成するために、ユーザーがメンバーである必要があるグループの名前。このオプションの値は、KSMSAdministrators がデフォルトで設定されています。

重要 それぞれの構成ファイルでこの値を変更する必要があります。

SecureSearchEnabled

検索要求で送信されるネットワーク データを暗号化するかどうかを決定します。このオプションの値は、「true」がデフォルトで設定されています。

重要 それぞれの構成ファイルでこの値を変更する必要があります。

LogLevel

ログ ファイルに書き込まれるメッセージの種類を決定するさまざまなレベルがあります。このオプションの値は、「警告」がデフォルトで設定されています。警告とエラーのみが記録され、情報メッセージは記録されません。

LogfilePath

この設定は、ログ ファイルが保管されるパスを定義します。このオプションの値は、C:\ProgramData\Kofax\KSMS\Logs\KSMS.log がデフォルトで設定されています。

必要に応じてパスを編集します。

RollingLogfileSizeInMB

アーカイブするときのログ ファイルのサイズを定義します。このオプションの値は、「10」がデフォルトで設定されています。ログ ファイルのサイズが 10 MBに達すると、同じフォルダにアーカイブ ファイルとして保管され、新しいログ ファイルが作成されます。

RollingLogfileCount

コンピュータに保管されるアーカイブ ファイルの数を定義します。このオプションの値は、「10」がデフォルトで設定されています。最後の 10 個のアーカイブ ファイルが使用可能です。

LogThreaIDInfo

バグの追跡のみに使用されるオプションの設定。ログ ファイルにメッセージを投稿するスレッドの ID を書き込みます。このオプションの値は、「false」がデフォルトで設定されています。

LogMutexInfo

デッド ロックのバグの追跡にのみ使用されるオプションの設定。true に設定すると、内部 mutex にアクセスするたびにログにエントリが追加されます。このオプションの値は、「false」がデフォルトで設定されています。

WcfThrottlingMaxConcurrentCalls

許可される並列接続の最大数を示します。この設定の値は、以下の

WcfThrottlingMaxConcurrentSessions 設定の値と一致する必要があります。このオプションの値は、「128」がデフォルトで設定されています。

注 サービスがすでにビジー状態のときにこの設定の値を大きくすると、サーバーのパフォーマンスが低下する可能性があります。サーバーですべてのマシン リソースを使用しないように、この数を慎重に増やしてください。

WcfThrottlingMaxConcurrentSessions

サーバーで並列処理されるクエリの数を示します。この設定の値は、上記の

WcfThrottlingMaxConcurrentCalls 設定の値と一致する必要があります。このオプションの値は、「128」がデフォルトで設定されています。

McfThrottlingMaxConcurrentInstances

WCF 通信を分析します。このオプションの値は、「2147483647」がデフォルトで設定されています。このオプションの値は変更しないでください。

コマンドラインを使用したサービス アカウントの構成

デフォルトでは、Kofax Search and Matching Server のインストールを実行すると、インストールされたサービスは [ネットワーク サービス] ユーザーとして開始されます。必要に応じて、コマンドラインからインストールを実行することで、インストール中にサービス ユーザーを設定できます。ユーザー名とパスワードを次の形式で設定できる追加のプロパティが用意されています。[ドメインまたはコンピュータ名\ユーザー名]。

たとえば、次のコマンドを入力します。

```
setup.exe SERVICEUSERNAME=MyMachineName\ServiceUser1  
SERVICEUSERPASSWORD=MyPassword2011
```

重要 このサービス アカウントのユーザーは、「[サービスとしてログオン]」するためのアクセス権限を持つ必要があります。権限を持たない場合、サービスを開始できません。次に、そのユーザーの権限を変更して、対応するサービスを手動で開始する必要があります。詳細については、Microsoft のドキュメントを参照してください。

Kofax Search and Matching Server のアップグレード

Kofax Search and Matching Server 5.5 または 6.0 からアップグレードする場合、[インストール手順](#)に従って、既存のインストールに Kofax Search and Matching Server 6.8 を上書きインストールできます。

並列接続の数の増加

デフォルトでは、Kofax Search and Matching Server は、最大 128 台の並列接続をサポートします (最小は 2 台)。Kofax.KSMS.Service.exe.config ファイルの WCF 接続設定を編集して、並列接続の数を増やすことができます。

並列接続の数を増やすことができます。以下の手順に従って、

1. Kofax.KSMS.Service.exe.config ファイルを開きます。
このファイルは、インストール中に選択したパスにあります。デフォルトでは、このパスは <Program Files>\Kofax\SearchMatchingServer です。
2. ThrottlingMaxConcurrentCalls 設定を見つけ、その値を必要な並列接続数に設定します。

3. `ThrottlingMaxConcurrentSessions` の値を `ThrottlingMaxConcurrentCalls` と同じ数の値に編集します。
4. 変更の [保存] を実行し、構成ファイルを閉じます。
5. `Kofax.KSMS.LoadBalancerService.exe.config` ファイルを開きます。
6. 同じ 2 つの設定を同一の値で編集します。
7. 変更の [保存] を実行し、構成ファイルを閉じます。
8. Kofax Search and Matching Server および Load Balancer サービスを再起動します。

Kofax Search and Matching Server のインストールのメンテナンス

Kofax Search and Matching Server のセットアップ メンテナンス ルーチンを使用すると、既存のインストールとセキュリティ設定を変更できます。たとえば、追加のコンポーネントを選択して、Kofax Search and Matching Server コンポーネントのインストール、インストールの修復、またはアンインストールを行うことができます。

1. Kofax Search and Matching Server のインストールを変更するワークステーションで、実行されている可能性のあるすべてのアプリケーションをシャットダウンします。これには、コントロールパネル、ウイルス検出ソフトウェア、ツールバーが含まれます。
2. **[setup.exe]** を実行して、インストール メディアからインストールを開始します。
3. **[次へ]** をクリックしてインストールを開始し、次のオプションのいずれかを選択します。
 - **[変更]** をクリックし、機能を選択してインストールを変更します。次に、**[次へ]** をクリックし、表示される指示に従います。
 - **[修復]** をクリックして Kofax Search and Matching Server のインストールを修復し、**[次へ]** をクリックします。
 - インストールされたすべての Kofax Search and Matching Server コンポーネントをアンインストールするには、**[削除]** をクリックし、再度 **[削除]** をクリックします。
4. **[完了]** をクリックしてインストーラを閉じます。

Kofax Search and Matching Server のアンインストール

Kofax Search and Matching Server は、インストール メディアまたはプログラムの [追加] と [削除] ユーティリティを使用してアンインストールできます。

重要 Kofax Search and Matching Server を削除してもデータベース ファイルは削除されません。デフォルトでは、これらのファイルは `<ProgramData>\Kofax\KSMS\Databases` フォルダに保管されています。

1. Kofax Search and Matching Server/Full Installer (64-bit) フォルダの **[setup.exe]** を実行して、インストール メディアからインストールを開始します。
2. **[次へ]** をクリックしてインストールを開始します。
3. **[削除]** をクリックして Kofax Search and Matching Server をアンインストールします。
4. 再度 **[削除]** をクリックします。

5. [完了] をクリックしてインストーラを閉じます。

Kofax Search and Matching Server Administration のアンインストール

Kofax Search and Matching Server Administration ツールは、インストール メディアまたはプログラムの [追加] と [削除] ユーティリティを使用してアンインストールできます。

1. Kofax Search and Matching Server/Administration フォルダの [setup.exe] を実行して、インストール メディアからインストールを開始します。
2. [次へ] をクリックしてインストールを開始します。
3. [削除] をクリックして Kofax Search and Matching Server Administration をアンインストールします。
4. 再度 [削除] をクリックします。
5. [完了] をクリックしてインストーラを閉じます。

Kofax Search and Matching Server 権限

Kofax Search and Matching Server サービスのユーザーは、データ ソースとして使用されるすべてのデータベース サーバーへのアクセス権限を持つ必要があります。このサービスのユーザーには、構成されたデータベース ディレクトリへの読み取りおよび書き込み権限も必要です。Kofax Search and Matching Server サービスの詳細については、『Kofax Search and Matching Server インストール ガイド』を参照してください。

さらに、このサービスのユーザーには、次のレジストリの場所とそのサブ キーへの読み取りアクセスが必要です。

- HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Kofax\SearchMatchingServer
- SOFTWARE\Kofax\SearchMatchingServer\5.5\RecentServersNode
- SOFTWARE\Kofax\SearchMatchingServer\5.5\RecentServers

Search and Matching Server Load Balancer には完全なネットワーク アクセスが必要です。また、Load Balancer サービスのユーザーが、KSMS Administrators グループのメンバーである必要があります。Search and Matching Server Administration のユーザーは、KSMS Administrators グループのメンバーである必要もあります。

Search and Matching Server Server Browser サービスには完全なネットワーク アクセスが必要です。

Kofax Search and Matching Server サービスの詳細については、『Kofax Search and Matching Server インストール ガイド』を参照してください。

第 3 章

Kofax Search and Matching Server ドキュメントへのアクセス

デフォルトでは、Kofax Search and Matching Server ドキュメントはオンラインで入手できます。ただし、必要に応じて、ヘルプをオフラインで使用するよう Kofax Search and Matching Server を構成することもできます。

デフォルトのオンライン ドキュメント

Kofax Search and Matching Server の完全なドキュメント セットは、<https://docshield.kofax.com/Portal/Products/KSMS/6.8.0-vr4sqfcys1/KSMS.htm> から入手できます。

製品のインストール済みバージョンのオンライン ヘルプを起動するには、F1 をクリックするか、メニューから [ヘルプ] を選択します。

オフライン ドキュメントの構成

オフラインでドキュメントにアクセスするには、ドキュメントを [Kofax フルフィルメント サイト](#) からダウンロードします。

重要 それぞれのクライアント システムのマシンにデフォルトのブラウザが設定されていることを確認します。

オフライン ドキュメント 以下の手順に従って、 を使用するよう Kofax Search and Matching Server を構成することができます。

1. [Kofax フルフィルメント サイト](#) から、ドキュメントの zip ファイルの内容を抽出します。
2. Kofax Search and Matching Server を使用するすべてのマシンで共有され、アクセス可能な場所に、**[en_US]** というディレクトリを作成します。
たとえば、N:\Documentation\en_US というディレクトリを作成します。
3. 抽出した zip ファイルから en_US ディレクトリに **[ヘルプ]** フォルダをコピーします。
または、zip ファイルの内容を IIS から見える en_US ディレクトリにコピーします。
4. Kofax Search and Matching Server のインストール パスに移動します。デフォルトでは、このパスは C:\Program Files\Kofax\SearchMatchingServer です。
インストール中にデフォルトのパスを変更した場合は、変更したパスを使用してください。
5. Kofax.KSMS.Administration.exe.config ファイルを開き、次の内容を追加します。

```
<?xml version="1.0"?>
```



```
<configuration>
  <appSettings>
    <add key="HelpPath" value="<Documentation_Path"/>
  </appSettings>
  <startup>
    <supportedRuntime version="v4.0" sku=".NETFramework,Version=v4.7"/>
  </startup>
</configuration>
```

HelpPath の値は、ファイルをコピーした場所と一致する必要があります。

ファイルを共有フォルダにコピーした場合は、パスの en_US 部分を除いたそのパスのルートを入力します。手順 2 の例を使用して、値を N:\Documentation に設定します。

IIS から見える場所にファイルをコピーした場合は、IIS で対応するサイトまたは仮想ディレクトリを設定して、それらのファイルにアクセスできるようにします。たとえば、値を http://localhost/KSMS/en_US"/> と設定します。

6. Kofax Search and Matching Server Administration を開き、**[F1]** を押してヘルプをテストします。オフライン ヘルプ用に構成した場所からヘルプがロードされます。エラーが発生した場合は、パスが正しいことを確認し、再試行してください。